



夏休みを安全に楽しく過ごすために

生活指導 齋藤 直子

いよいよ子どもたちが待ち望んでいた夏休みが始まります。今年度は、7月24日(水)から8月26日(月)までの34日間となっております。例年通りの長い夏休みになっています。この夏休み中にしかできないことに思い切り取り組んで、思い出に残る時間を過ごしてほしいと思います。

この貴重な夏休みの時間を有意義なものにするために、学校では下記のことを中心に指導しました。是非、各ご家庭の約束と一緒に再度確認していただき、子どもたちの心身における安全確保に努めていただくと幸いです。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

- 「遊びについて」「火」「水」「車」「人」「金」に注意して過ごす。
 - ▶ 夏休み中は、子どもだけで過ごす時間が多くなるため、特に「火」と「金」の扱いには、十分に気を付けるようにお子さんにお声がけください。
- オンラインゲーム、インターネット、SNS等の取り扱いには、十分に注意する。
 - ▶ オンラインゲームを介したトラブルが増えています。ゲーム内容によっては、対象年齢が設定されているものもあります。また、SNS、オンラインゲームでは、自分が送るメッセージで相手を傷つけないように注意してください。

各ご家庭で使用上の約束を再度お子さんにご確認ください。

◎ 夏季休業後の下校時刻のお知らせ

8月27日(火)	3時間授業	給食なし	11:30	下校
8月28日(水)	5時間授業	給食清掃後	13:15	下校
8月29日(木)	4時間授業	給食清掃後	13:40	下校
8月30日(金)	4時間授業	給食清掃後	13:40	下校
9月2日(月)	通常授業			

学校便り
第3号

新潟市立松浜小学校

まっはま

学校HP

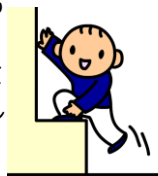
男子	217名
女子	205名
計	422名

令和6年7月19日

思春期：～大人から見る“反抗”子どもからすると…？～

校長 小坂井 秀行

思春期は、「親とのつながりが深かった自分」から、「親とは違う自分」になる時期を指します。他者からの視線や評価にも敏感になり、不満や、焦り、劣等感を感じる反面、自分を誇らしく思って自信をつけるタイミングでもあります。「～しなさい」と大人が指示することに、子どもが無視したり反抗的な態度をとったりするようになってきたら、「子どもの自己主張」が始まっているかもしれない、と考えるとよいそうです。「自分の行動を自分で決めよう」とし始めているんだな」と、子どもの気持ちを尊重することが大切です。



思春期の子どもへの褒め方で大事なことは、「事実で褒める」ことです。例えば「運動会頑張ったね」だけでなく「腕の振りがすごくよかったよ」などを付け加えます。そのためには、子どもをよく見てあげることが必要になります。また叱り方はとても重要で、「また、お前か・・・」など人格を傷つけるような言い方はNGです。子どもの行動には必ず理由があります。起こったこと(事実)を丁寧に確認し、その時の気持ちを聴き取りましょう。その中で、なぜその行動が起きたのか、子どもと一緒に考えることで今後どうするかも考えやすくなります。

思春期の子どもは「自己肯定感」を高めるように「認めてあげる」ことが大切です。そのため、「全然ダメだな」、「また失敗したのか」など否定的なワードはNGです。「失敗してもいいよ」「いつも味方だからね」「思う存分やってごらん」というように、本人の考えや行動を認めながら、子どもの背中を押せるようなワードを意識して声掛けが大切です。

とはいえ・・・分かってはいるものの、私もうまくはいきませんでした。

きらい 浜っ子(N0.18 地域の方から)

先日、地域の方からこんな話を聞きました。登校中に低学年の子がしゃがみ込んでいました。そこに高学年の子がやってきて、その子に「頑張ってい学校行こう」と声を掛け、ランドセルを代わりに持ち、その子を背負って学校へ向かいました。地域の方は「私が背負うよ」と声を掛けると、笑顔で「大丈夫です」と答え、汗びしょりにいながら学校に向かったそうです。その姿に、気持ちが「ほっこり」したそうです。私も話を聞いてほっこりしました。

6年 会津社会体験学習

体験学習の日程

1日目 6月13日(木)

小学校出発 — 鶴ヶ城見学
— 班別会津若松市内散策
— 宿舎到着



2日目 6月14日(金)

宿舎出発 — 慶山焼体験
— 日新館到着
— 野口英世記念館 — 小学校到着



「伝え合う子」「思い合う子」「育ち合う子」を達成するためにはとても素晴らしい活動でした。

班の活動を円滑に進めるため、トラブルを解消するためにたくさん伝え合う。友達と仲良く活動をするため、困っている友達を助けるために思い合う。みんなで協力し合って育ち合う。素晴らしい姿がたくさん見られました。

今回の学びを忘れずに、今後の活動に生かしてほしいと願っています。

6学年主任 嶋貫 悟



たくさん学んだ修学旅行

6年1組 窪田 菜愛

私は、2つの大切なことを学びました。

1つ目は、同じ班の人と協力する大切さです。班別研修で周遊バスに乗る際、人が多く乗っており、乗車できない時がありました。でも、次のバスの時刻、降車場所を相談して、すぐに判断し、臨機応変に行動できました。

2つ目は、施設の人の話をよく聞いて集中して取り組む大切さです。慶山焼は、器の厚さをよく見て作らないと完成した作品が崩れるそうです。話をよく聞いて、アドバイス通りに手で確かめながら薄さをよく考えたことで、上手に完成させることができました。この2つのことをこれからも大切に、学校生活でも生かしていきたいです。



とっても楽しかった修学旅行

6年2組 渋谷 篤史

修学旅行では、みんなでご飯を食べたり、見学したりと、とっても楽しい出来事がたくさんありました。その中でも特に楽しかった出来事が3つあります。

1つ目は鶴ヶ城見学です。中は鶴ヶ城の資料がたくさんありました。1番上からの景色がすごかったです。

2つ目は班別活動です。行く場所や乗るバスを自分たちで決めていきました。予定通りには活動できませんでしたが、1番楽しかったです。

3つ目はホテルでの出来事です。みんなで温泉に入ってお飯を食べました。2日目の朝、ホテルのエアコンのリモコンの時計がこわれていて3時に起きたのが1番の思い出になりました。

修学旅行はいろいろありましたが、とっても楽しかったです。



一生の思い出 修学旅行

6年3組 池田 和奏

ぼくが、この修学旅行でがんばったことは2つあります。

1つ目は、実行委員長の役割です。ぼくは、実行委員長として準備をしたり、出発式や到着式で言葉を言ったりしました。特に、到着式で「協力したこと」や「学んだこと」を発表したときに、みんなからの拍手が大きくて、なってよかったと思いました。

2つ目は、スローガンを意識することです。みんなで決めた「笑顔で協力して最高の2日間にしよう!!」の協力を意識しました。例えば、班別行動でバスの時間をみんなで確認しながら行動しました。

とても楽しかったので、また行きたいです。

